

平成27年3月30日

南海電気鉄道株式会社

～自然環境にやさしい社会づくりに向けて継続して取り組みます～

環境保全団体に630万円を寄付しました 間伐材を使用したベンチを設置しました

南海電鉄（社長：亘 信二／本社：大阪市浪速区）では、「環境重視企業」を目指すことをグループ経営方針として定め、事業活動を通じて常に環境への影響に配慮し、自然環境にやさしい社会づくりに向けて行動しています。

●環境保全団体に630万円を寄付

環境にやさしい鉄道をご利用いただくことで、「排ガスやCO₂の排出削減」と「環境保全団体への支援」というダブルでECOに貢献いただける「ミナピタエコポイント」制度を導入しています。この制度は、お客さまのICカードでの鉄道利用に応じてポイントを累計し、そのポイントを金額換算して、当社から環境保全活動を行っている団体などに寄付するものです。そしてこのたび、本エコポイントによって**630万円を環境保全団体（11団体）に寄付**しました。なお、当社では同制度を導入した平成20年から毎年エコポイントを活用した寄付を行っており、今回で7回目となります。

●間伐材を使用したベンチを設置

当社は、二酸化炭素の吸収のほか、防砂や水源保全、また生物多様性の保全などを目的に、昭和52年ごろから奈良県吉野郡十津川村の「なんかいの森」において、スギ・ヒノキの植林を開始し、以来、計画的な植林、施業（枝打ち・間伐）などを行っています。

3月20日（金）になんばパークスがリニューアルしたことに合わせ、「なんかいの森」での活動をPRすることを目的に、同森の間伐材（スギ）を使用したサイドテーブル付きベンチを制作し、同施設5階に設置しました。お買い物の合間の休憩スポットとしてホッとできる優しい場所が誕生しました。



詳細は次ページのとおりです。

1. 「ミナピタエコポイント」の寄付について

(1) 累計ポイント

6,475,671ポイント（平成26年1月～12月までの集計）

※1回のご利用で3ポイントを計上しています。

(2) 寄付金額

6,300,000円

(3) 寄付日

平成27年3月6日（金）から17日（火）までに以下の11団体に寄付しました。

(4) 寄付先

団体名	活動内容
大阪府生物多様性 保全基金	大阪府内における野生動植物の生息・生育環境の保全・再生・創出や、自然環境教育の推進、野生鳥獣の保護など、自然環境の保全・野生生物の保護活動に取り組んでいます。
大阪府みどりの基金	大阪府内における緑化の推進や良好な自然環境の保全のために設置された基金です。大阪のまちに“みどり”を増やすために、地域の緑化活動に対する支援や緑化樹木の配付などに取り組んでいます。
ブナの森トラスト基金	「国の天然記念物」に指定されている和泉葛城山のブナ林を、次世代に残していくための保全事業に取り組んでいます。
極楽橋森林整備 プロジェクト (高野山)	世界遺産・高野山にふさわしい景観を整備するため、極楽橋周辺の「極楽の森」（高野山国有林）などの整備を目的に組織された委員会で、同地での整地（下草刈り）などに取り組んでいます。
竜王溪森林整備 プロジェクト (九度山町)	和歌山県有数の景勝地である竜王溪（りゅうおうけい）周辺を整備し、森林の健全化と育成を図ることを目的としており、竜王溪の景観を美しく守るための森林整備（下草刈りなど）作業に取り組んでいます。
河内長野の豊かな 森林(もり)づくり基金	河内長野市内の手入れ不足の森林において、環境を重視した人工林の間伐や、森林保全活動の実施など水源や基盤を守る活動に取り組んでいます。
世界遺産の森林(もり)を 守ろう基金	平成16年に「紀伊山地の霊場と参詣道」が世界遺産に登録されたことを契機に、「文化的景観」のひとつである森林を保全することを目的とし、世界遺産周辺の公有林などの整備・保全に取り組んでいます。
日本動物園水族館協会 (野生動物保護募金)	日本や世界の野生動物を守るための募金活動を行っており、ホッキョクグマ、ライチョウなどの希少な野生動物に関係した基礎的調査・研究や日本に生息する淡水魚などの繁殖・保護啓発に取り組んでいます。
WWFジャパン (世界自然保護基金)	人と自然が調和して生きられる未来を築くことを目指して、地球上の生物多様性を守り、人が与えている自然への負荷を小さくする活動に取り組んでいます。
天王寺動物園 サポーター制度	環境教育、種の保存、調査・研究、自然保護などの拠点としての動物園の支援に取り組んでいます。
大阪市ふるさと納税 (環境保全関係)	市民を対象とした地球温暖化などの環境問題に関する啓発講座・イベントの実施や、騒音などの地域特性に応じた身近な環境問題に関する学習会の実施などに取り組んでいます。

《参 考》「ミナピタエコポイント」について

(1) 制度の内容

お客さまが土・休日に minapita (PiTaPa) カード（南海電鉄の PiTaPa カード）を利用して南海難波駅または南海関西空港駅で乗車もしくは降車するたびに、3ポイントを当社が「ミナピタエコポイント」として計上し、蓄積します。

「ミナピタエコポイント」は、毎年集計し、当社沿線での森林育成や生態系保全などの環境保全活動を行っている団体などへ寄付し、さまざまな活動に活用します。

※お一人さまにつき、1日最大12ポイント（4回分）まで計上します。

※「エコポイント」は、お客さまに対してポイントを付与するものではなく、また他のポイントとの互換性はありません。

※お客さまに対しては、従来どおり「minapita ポイント」を「土休日ポイント」として1回につき5ポイント付与します。

※他社の PiTaPa カードをご利用の場合は、エコポイントは計上されません。

(2) 制度の導入年月

平成20年10月

(3) これまでの実績

①期間 平成20年10月から平成26年12月まで

②寄付金額 38,369,162円

2. 「なんかいの森」の間伐材を使用したベンチについて

(1) 設置時期

3月19日(木)から

(2) 設置場所

なんばパークス5階 塩屋(まーすやー)前

(3) 内容

「なんかいの森」から搬出間伐したスギ20本(約700kg)を使用し、長さ約1.4mの「サイドテーブル付きベンチ」を7脚、加工制作しました。木製ベンチは、木目を活かした曲線の美しいデザインです。

(4) 制作

株式会社ワイスワイス

(5) 協力

大和不動建設株式会社

《参 考》護摩壇山「なんかいの森」について

当社は昭和52年ごろからスギ・ヒノキの植林を開始し、以来、計画的な植林、施業(枝打ち・間伐)などを行っています。ブナ林などの天然林を残すなど、二酸化炭素の吸収だけでなく、防砂や水源保全、また生物多様性の保全などに貢献することから近年ではCSRの側面としても力を入れて事業を行っており、役員・社員が参加する間伐ボランティア活動を実施しています。

1. 所在地	奈良県吉野郡十津川村杉清口千丈575
2. 面積	約510ha(人工林310ha、天然林200ha)

以 上